

資料

1 東日本大震災発生直後における当市場の対応

日	時間	内容
3月11日(金)	14:46	東日本大震災発生
	17:00	市場内各団体緊急招集 水産・青果の卸売業者、青果仲卸組合から数名集合。開設者を交え、明日以降の取引等について協議。通常時間での通常取引は出来なくても、仕入れに来た買受人には相対取引で対応することとした。又、緊急的に食糧供給支援要請がきた場合に出来る限り対応することとした。
	20:00	市場内各団体緊急招集 水産・青果の卸売業者、水産仲卸組合、青果仲卸組合、配送センターに開設者を交え、救援支援物資の区対策本部及び市立病院への配送等について協議。
3月12日(土)	7:30	市場内各団体との打合せ 各団体所属の職員・社員の安否や出勤状況の確認。施設被害状況の報告。救援物資の配送、通電の見通しや燃料・水の確保について協議。
	9:30	市場内各団体との打合せ 水産物・青果物の取引状況報告。取引方法、青果部売場への不審者の出入りについて協議。
		救援物資の供給 区対策本部へ救援物資としてバナナ(70~80本入×2,000箱)を供給。同様に柑橘類等を3月15日(火)まで区対策本部へ継続供給。
3月13日(日) 臨時開市	7:30	市場内各団体との打合せ 各団体所属の職員・社員の安否や出勤状況の確認。救援物資の配送、取引方法等について協議。
		救援物資の供給 区対策本部のほか市立病院へ救援物資として柑橘類を供給。同様に柑橘類等を3月16日(火)まで市立病院へ継続供給。
3月14日(月)	8:00	市場内各団体との打合せ 施設関係復旧状況の報告。銀行より営業についての説明。救援物資の配送、取引方法について協議。同様の早朝会議を3月26日(土)まで同時間から継続。
3月15日(火)		電力復旧(本場)
3月16日(水) 臨時開市	6:30	水産物部で一部せり実施(遠海売場付近)
3月17日(木)		救援物資の供給 救援物資集積所(消防学校)へ救援物資としてバナナ、柑橘類を供給。同様に3月23日(水)まで継続供給。
		上水道復旧(食肉市場)
3月18日(金)		救援物資の供給 宮城県災害対策本部へ自衛隊炊き出し用野菜を供給。
		電力復旧(花き市場・食肉市場)、上水道復旧(本場・花き市場)
3月20日(日)		燃料計画配給1回目 市場内ガソリンスタンドにて、支援物資輸送や市場機能確保のため、市場登録車両への燃料の計画配給を実施(100×400台)。
3月21日(祝) 臨時開市		
3月22日(火)	7:00	青果部で一部せり実施(近在売場)
		燃料計画配給2回目 市場内ガソリンスタンドにて、支援物資輸送や市場機能確保のため、市場登録車両への燃料の計画配給を実施(200×150台)。
3月23日(水)	9:00	花き市場取引再開
3月25日(金)		燃料計画配給3回目 3回目市場登録車両への燃料の計画配給を26日との両日で実施(2日間で200×550台)。
		天然ガススタンド復旧(本場構内運搬車用)、プロパンガス一部復旧(食肉市場)
3月27日(日) 休市		震災後初の休市
3月28日(月)		水産物・青果部・花き部共ほぼ通常取引に

※食肉市場は、4月5日豚の枝肉搬入による取引再開。4月8日牛の枝肉搬入による取引再開。